

第3章 私たちを取り巻く現況等

1 超高齢社会と人口減少の進行

萩市の人口は、平成 29 年 9 月末（住民基本台帳）現在 48,895 人で、平成 25 年の 52,593 人と比較して 3,698 人の減少となっています。今後も人口は減少するものと思われます。

人口の推移を年齢別にみると、年少人口（0～14 歳）及び生産年齢人口（15～64 歳）は減少し続けており、高齢者人口（65 歳以上）は増加しています。

平成 29 年 9 月末の高齢者人口（65 歳以上）は 19,999 人で、高齢化率は 40.9%となっており、約 4 割の方が 65 歳以上の超高齢社会となっています。

一方、平成 28 年の出生数は 267 人で、平成 17 年の出生数 382 人以降年々減少しており、少子高齢化が進行しています。こうした状況は、今後も継続するものと推測されます。

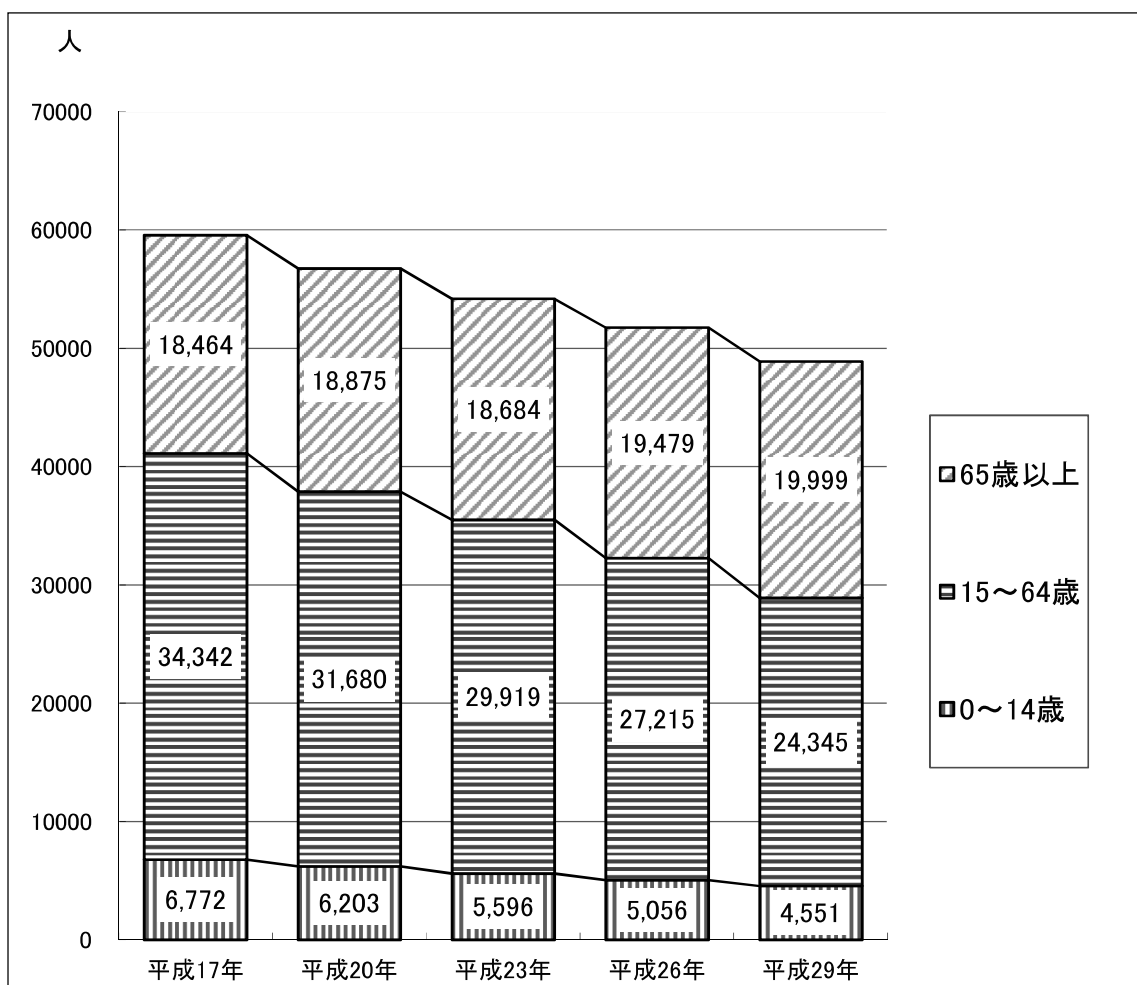
少子化の進行は、生産年齢人口の減少による経済成長への影響、年金・医療などの社会保障制度への現役世代の負担の増大、社会の基礎単位である家族形態の変化や子ども同士の交流機会の減少、地域社会の活力の低下など、経済面・社会面にも大きく影響を及ぼすことが懸念されます。

Ⅱ 総論 第1章 計画の基本理念

萩市の人口の推移（人、％）

	総数	0歳～14歳	15歳～64歳	65歳以上
平成17年	59,578 100.0	6,772 11.4	34,342 57.6	18,464 31.0
平成20年	56,758 100.0	6,203 10.9	31,680 55.8	18,875 33.3
平成23年	54,199 100.0	5,596 10.3	29,919 55.2	18,684 34.5
平成26年	51,750 100.0	5,056 9.8	27,215 52.6	19,479 37.6
平成29年	48,895 100.0	4,551 9.3	24,345 49.8	19,999 40.9

住民基本台帳（各年9月末）



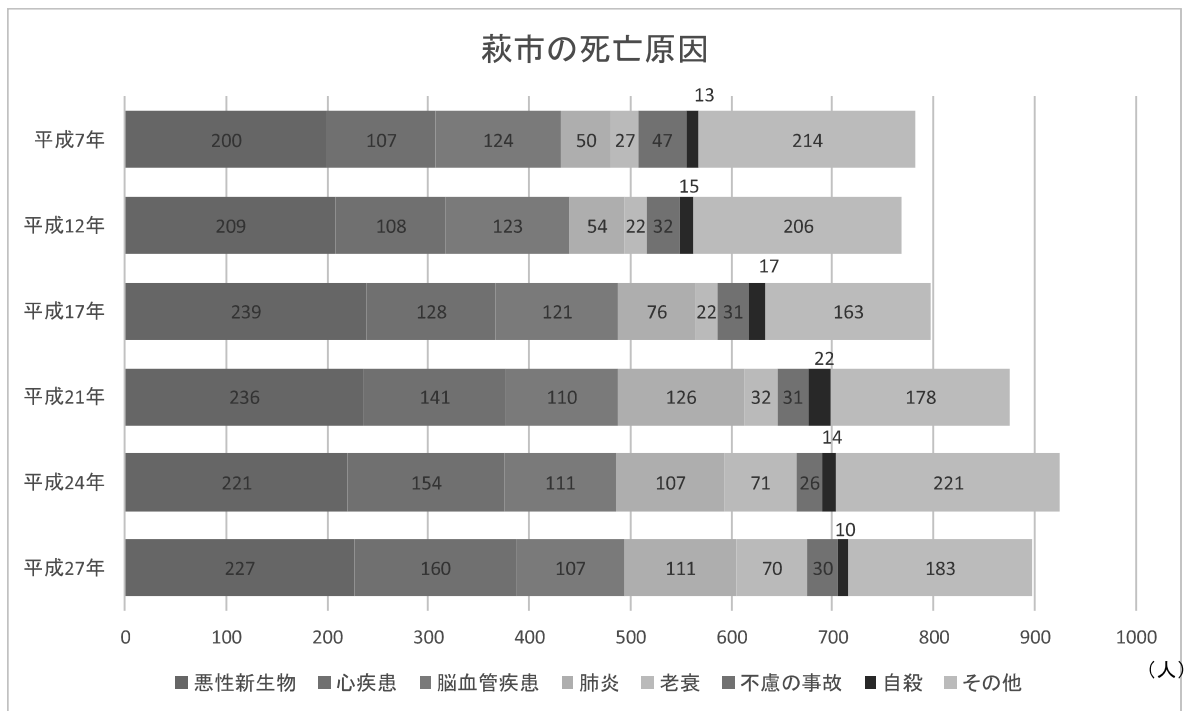
Ⅱ 総論 第1章 計画の基本理念

2 疾病構造の変化

人口の急激な高齢化とともに、食生活、運動習慣等を原因とする生活習慣病が増え、その結果、要支援・要介護状態になってしまう人々が増加し、深刻な社会問題となっています。

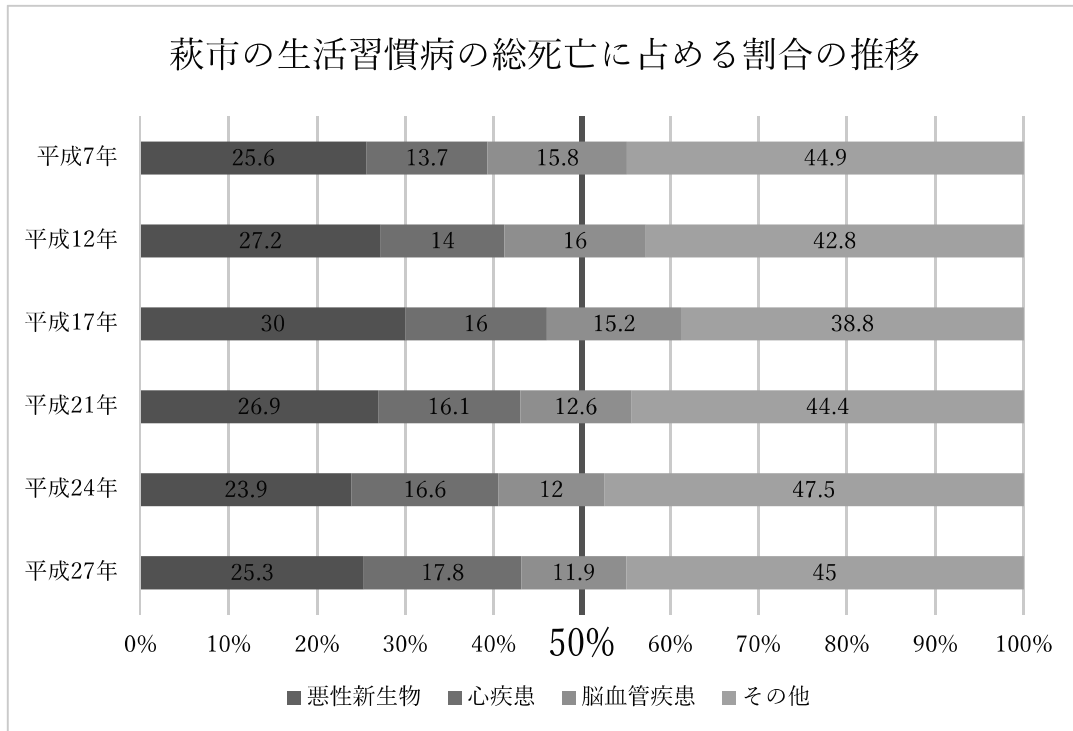
萩市における死亡数は、平成24年度をピークに平成27年度は減少しているものの、がん、心疾患、脳血管疾患などの生活習慣病による死亡が50%を超え、国と同様の傾向にあります。

また、萩市の健康寿命の推移をみると、県平均と比較して依然として低い水準にあります。



山口県保健統計年報

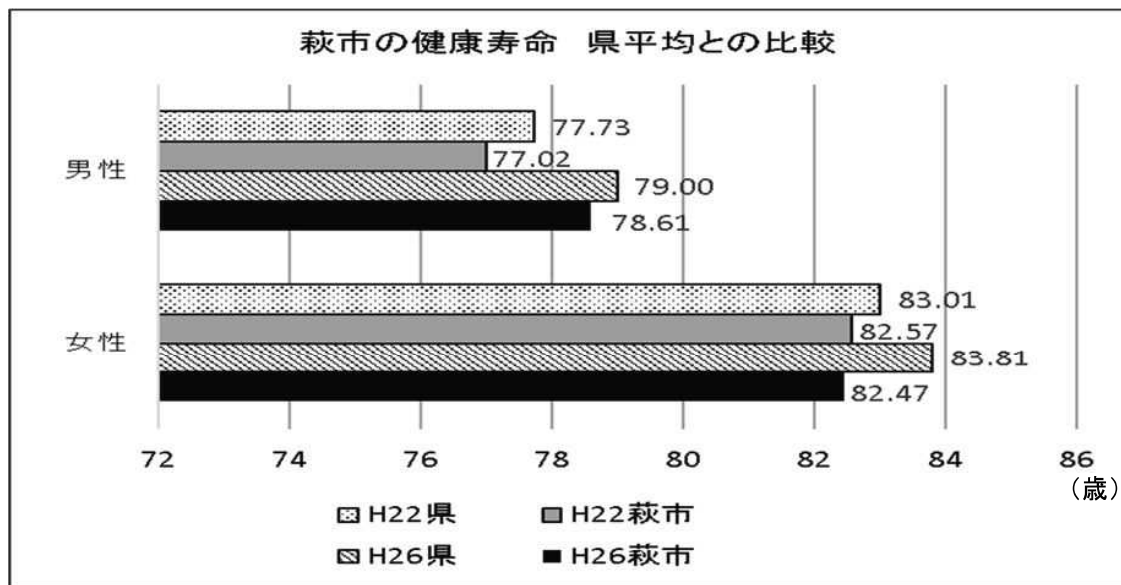
Ⅱ 総論 第1章 計画の基本理念



山口県保健統計年報

萩市の健康寿命 県平均との比較

	平成 22 年			平成 26 年		
	萩市	県	県内順位	萩市	県	県内順位
男性	77.02 歳	77.73 歳	19/19 市町	78.61 歳	79.00 歳	10/13 市
女性	82.57 歳	83.01 歳	16/19 市町	82.47 歳	83.81 歳	12/13 市



山口県健康福祉部健康増進課